

南城市サッカー大会 新型コロナウイルス感染予防に配慮した 大会運営 ガイドライン

1 大会運営にあたって

- ① 大会に参加するチームは、大会当日、選手の健康状態を確認できる体制にすること。
- ② 選手には、免疫力を高めるため、十分な睡眠、バランスの取れた食事を心掛けさせること。
また、本人の意向を尊重し大会への参加は強制しない。

2 三密を避ける取り組み

- ① 大会会場に入場できるのは役員・各チーム選手、監督、コーチ、チーム役員（区長・自治会長）とする。
- ② 応援者については、自粛をお願いする。（フィールドレベルへの立入りを禁止する。）
- ③ 試合間の入れ替えについては、前の試合の選手が全員出てから行い、ベンチの消毒をした後に次の試合チームが入るようにする。
- ④ ベンチ内についても、ソーシャルディスタンスに心掛け、十分な距離を保つこと。

3 検温及び健康観察について

- ① 各チームにおいて大会当日の朝、必ず、自チーム選手の検温及び健康観察を行うこと。
 - ・熱はないか
 - ・咳や鼻水などの風邪症状はないか
 - ・強いだるさや頭痛はないか
 - ・息苦しさはないか※会場へ入場の際、検温を行う。検温後、高熱がある場合は、入場させない。
※発熱や風邪症状のある選手やチーム関係者の大会参加・観戦は認めない。
- ② 検温後は、体温を健康状態申告書（団体用）に記入し大会本部に提出してください。（別紙）
- ③ エントリーシート及び健康状態申告書は、該当チームの第1試合開始前までに大会本部に提出する。
※体温・健康状態申告書に記載がない選手は参加を認めない。
※途中参加の選手については、別紙、健康状態申告書（個人用）を本部に提出する。
- ④ 大会会場入り後に発熱症状等、体調不良の選手は、速やかに帰宅させること。
- ⑤ 大会終了後、帰宅後も健康観察を行ってください。

4 手洗い・うがい・消毒について

- ① 会場への入場前、入場後は手洗い・うがい・消毒を行う。
- ② 手洗い後の手を拭くタオルは共有しない。

5 マスク等について

- ① 基本的にマスクは、会場への入場時から帰宅まで全員着用すること。
- ② アップ中は、マスクを外しても構いません。試合中の選手は、マスクを外すこと。ベンチ内の控え選手及び関係者は、マスクを着用すること。
- ③ 外したマスクは清潔に保ち、個別で保管するよう各チームで徹底すること。

6 試合中の注意事項

- ① 試合前の選手チェック時は、十分な距離（2m程度）を保つこと。
- ② 試合前の声出しや円陣は行わない。
- ③ 試合前の整列は行わず、タッチラインより各ポジションへ分散する。
- ④ 試合後の整列は行わず、審判員とキャプテンで確認する。その際も握手はなしとする。
- ⑤ ユニフォームの色が同色の場合、本部よりビブスの貸し出しはしますが、共有はしない。
※洗濯後に使用させる。
- ⑥ タオル・給水用コップ・ボトルは共有しない。
- ⑦ 試合球については、こまめに消毒を行う。

7 審判員について

- ① ホイッスルの共有はしない。（消毒をこまめに行う。）
- ② 審判着の共有はしない。数が不足する場合は、ラインズマンはビブスで行う。ビブスについても共有しないこと。
- ③ 黄・赤・緑カードについては、使用後消毒を行うこと。

8 その他

- ① 大会終了後、チームが控えていた場所は、各チームで消毒を行う。
- ② 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、体育協会事務局に速やかに連絡し、濃厚接触の有無等について報告すること。
- ③ 終了後の各支部における慰労会については、自粛すること。